

ディズニープリンセス映画におけるジェンダー観

重村映瑠

これまで、ディズニープリンセス映画には『白雪姫』を始め、様々な個性を持ったプリンセスたちが登場してきた。昔ながらのプリンセス・ストーリーの世界観に求められる行動や、ステレオタイプである「女性らしさ」と「男性らしさ」というジェンダー観が、ディズニー映画に大きく影響しているのではないかと考える。本稿では、ディズニープリンセス映画と、アメリカのフェミニズムの歴史を通して、『白雪姫』を始めとした古典的なディズニープリンセスから、「王子様」もヴィランズ（悪者）も登場しない『アナと雪の女王Ⅱ』のような現在までのディズニープリンセスにおける、変わりゆくプリンセス像をアメリカのフェミニズムの歴史を通して見比べ、先行研究を参考に分析していく。